レッスン：PYR No.71

テーマ：Life/アークエンジェル

PYR KE07 No.15 30/05/07

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

レッスンのなかで、絶対存在は一つであるが、多重性のステートにあり、実際この多重性がスピリットモナドセルフとしてのLifeである、と述べました。それぞれのスピリットモナドセルフはまた絶対存在のワンネスを意味しています。

　Lifeが存在するためには3つの特質…動き・波動・振動…が必要であると述べました。これらの特質がなければ、Lifeは存在しません。今日では科学者ですら物質のなかにさえこの運動があることを知っています；ですから、Lifeはあらゆるものの中にあります。

　さて、この創造界にはLifeが存在しない場所もあるとみなすことができるでしょうか？多くの人々は、科学者でさえも、Life（＊生命）は宇宙における特定の惑星上にだけ存在すると信じています。そしてごく最近、彼等はテクノロジーを通じて、他の惑星にもLifeを発見したと述べています。しかし彼等は、彼等がLifeであると思っているようなLifeをそこに見いだすことはできない、ということがわからないのです。そして私たちは再び、Lifeを特徴づける3つの特質…動き・波動・振動…に戻りますが、これは物質の最小の原子のなかにすら見いだすことができます。

　物質の原子に関して、何がLifeなのでしょうか？原子はLifeの本質を完全に現しているでしょうか？原子それ自体についてはノーですが、しかし原子はLifeによって活性化されています…物質を管轄しているそれらのアークエンジェル達のLifeの息吹によって。

　過去に言いましたが、物質、地はサミュエルによって活性化されていて、サミュエルはルシファーというアークエンジェルのオーダーのエレメンタルです。ですから最小のなかにさえLifeは*存在します*。物質それ自体はLifeではありませんが、それはLifeの息吹によって活性化され、同じ事は動物界と植物界についても言えます。

　レッスンのなかでLifeの本質に関して、その主な特質は…絶対英知・絶対パワー・絶対善…であると述べました。これらLifeの本質の主な特質はLifeの最小のスパークのなかにすら見いだすことができます。ですから、モナドスピリットセルフから来るLifeの最小のスパークですらもまた神なの*です*。

　　ですから、多重性のワンネスであるか、または多重性からの最小のものであるかに違いはありません。そして勿論、多重性からの最小のものは多重性と一つであるとみなされるためには、元型である人間のイデアフォームの使用を通じて“セルフ”（自己）を現す必要があります。なぜなら、それが起きるためには、つまりワンネスの多重性からの最小のものであるためには、それが創造の諸世界のなかの現れであることを意味します。さもないと多重性からの最小のものはありえません。ですから、最小ですら、繰り返しますが、それは元型である人間のイデアフォームを使用しており神なの*です*。そしてそれ自体のなかでそれ自体を現しています…魂のセルフエピグノシスであろうと汎宇宙的キリストロゴスであろうと、それは一つです。

　さて、物質の使用を通じてそれ自身を表現する以前のパーソナリティー、そのパーソナリティーもまた神でした。現在のパーソナリティーとしてではなく、アダムとイブとしてサイコメトリカル(\*psychometrical)な諸世界のなかにおいて神なのです。

Page2

　実存の諸世界のなかで現されたスパークは実際、魂のセルフエピグノシスであると言いました…その微細なスパークであるにもかかわらず。そしてそのLifeのスパークが最初にパーソナリティーを活性化します。つまり、サイコノエティカル体を持つパーソナリティーです。しかし、その体は完全に再形成されており、そのパーソナリティーはLifeの本質を完全に現しており、そのパーソナリティーはそれ自身のなかで二元性の能力を持ち、そのパーソナリティーとはアダムとイブです。

　しかし、このパーソナリティーはディバインの黙想の活動のなかに参加しているので、仕事を達成すべきだという“知識”があり、蛇が英知を現します…そのパーソナリティーの一つの二元性に対して蛇が“促す”のです…それによって、もう一つの二元性に対してマインドの低次の波動の中で表現される手段を提供するようにと。

　さて、イブとは何を意味しているのでしょうか？それはその現れの聖霊的本質であり、勿論、聖霊的現れは女性という性です；そしてアダムはロゴス的現れ及び男性としての性を意味します。

　リンゴとは何でしょうか？リンゴは4つのエレメントとリンゴの中に見いだされる五芒星を意味します…その現れは真の又は影としての五感を使用するということを。しかし同時にそれはまたその現れが再び以前のステートに戻るという能力を意味します…今の現在のパーソナリティーとしてではなく、Lifeの本質を完全に現しているパーソナリティーとして。なぜなら、レッスンで述べたように、五芒星には2つの意味があります…1つの意味は五感であり、もう一つの意味は元型としての人間のイデアフォームです。

　勿論、現在のパーソナリティーとしてのその現れが自己実現に到達すると、それはもはや現在のパーソナリティーではなく、高次ノエティカル体を使用するという権威ある“パーソナリティー”となります。

　完全に再形成されたサイコノエティカル体はどこに行くのでしょうか？それはその現れが転生のサイクルのなかに留まることができる能力として、そこにあります。勿論、そのステートではパーソナリティーとしてでさえ、名前はありません。パーソナリティーとして、永遠のアトムは完全に再形成されたサイコノエティカル体と一つになります。そしてもし名前のある自己実現した現在のパーソナリティーに質問すると…なぜなら現在のパーソナリティーとして自分を現しているので…もしあなたがそのパーソナリティーに過去のいくつかのパーソナリティーについて質問すると、相手は今の現在のパーソナリティーとしてではなく、“パーソナリティー”として答え、過去において“あれこれとしての”パーソナリティーとして存在していたことがある、と答えることでしょう。

Q：つまり、彼等は覚えていることができ、過去の複数のパーソナリティーについて述べることができるということですか？

K：それは思い出すという問題ではありません。

Q：私が見る限り、私たちは聖霊的及びロゴス的な特質から出来ているのですね。

K：全ての人間はその中に女性か男性かというこの二元性があります。何が、新しい体としての肉体を築くという能力を与えるのでしょうか？女性の卵子は何を意味しているでしょうか？それは4つのエレメントを意味します。リンゴがアダムに与えられたリンゴを意味するように。

　そして男性の精子は何を意味しているでしょうか？それは頭、および物質へのLifeの下降を意味します；物質のなかで現されようとするLifeを。Lifeと言うとき、ここではそれはLifeの現象のことです。前に述べた現在のパーソナリティー、Lifeのスパークによって活性化された現在のパーソナリティーです。最初にLifeのスパークがパーソナリティーを活性化し、その後で引き続き現在のパーソナリティーを活性化します。現在のパーソナリティーとは、マインドの低次の波動（物質、肉体）の中にいるという意味です。

Q：Lifeにおける多重性の最小のものについて、もう少し説明してもらえますか？

K：多重性からの最小のものとは何でしょうか？Lifeの微細なスパークが最初にパーソナリティーを活性化し、後には現在のパーソナリティーとなります；それはLifeにおけるLifeの最小の現れです。そしてそのスパークとは神です。レッスンの中で述べましたが、自己実現のステートにいる人間ですら神なのです…ただそれはLifeの能力を完全には現しませんが、つまりLifeの本質が完全には表現されていない、ということですが。

Page3

　そして何が表現されていないのでしょうか？同化です。創造界のなかの全てとの同化…最小のもの、そして最大のものとの同化です。私たちが説明したように、それは同調と同化の能力を同時に持ち、**この惑星上の全ての現れと同調及び同化が可能な惑星ロゴスの能力です。**このロゴスは物理的現象を管轄し、この惑星上の全ての人間のために類似の経験を与えます；地震、その他の物理的現象を人間に体験として与えます；惑星ロゴスは全ての個人のなかにある諸法則に同調、同化します。

　しかし、彼等は全ての人間と同調、同化すると言う時、人間または地震その他の物理的現象だけでなく、何であれ実在するもの、そしてセルフモナドを現しているものと同調します…それが動物界または植物界のものであろうとも。それらはロゴスの管轄です、それが太陽系であれ銀河系であれ、彼等はそれら全てを管轄します。そして勿論、この地球という惑星のために惑星ロゴスがいます。ですから、私たちの地球は惑星ロゴスによって生きており、活性化されています。そしてまた地球における最小の物質のなかにも*Lifeがある*のです。

　実際、惑星ロゴスはこの地球を維持するために働いている全てのアークエンジェル達を管轄しています。結局、この地球は必要な経験をするために現れている全ての人間のためにあるのです。

Q：自己実現した時に得られる色は真の色ですか、あるいは私たちの経験を通じて得られる特定の質なのですか？

K：それはあるモナドセルフが他の全てのモナドセルフとは異なったものとして自己実現を得る上で、何であれ助けたものです。最初はパーソナリティーとして、そしてまた高次ノエティカル体の使用を通じの現れとして。しかし、最終的にはそれらは皆同じように見えます。唯一の違いは、それらがそれぞれ区別できるような違いですが、それは色の輝きのスパークです。実際、それは色ではなく波動です。しかしそれを言葉で表現することはできません。そして自己実現したパーソナリティーだけがその違いを現すことができます。

　Lifeのスパークが自己実現したものであるか否かをどのようにして見分けるのでしょうか？皆さんは光の輝き、またはその他の何かを見ると思いますか？

　実際、そこには考えとか行動などはなく、二元性はありません。あなたがあるLifeのスパークを見ると、自動的にそのLifeのスパークがその体験をしたか、人間のイデアを体験して自己実現を達成したか否かがわかるのです。それはまるであなたの前に本が開かれているかのようです。あなたが人間のイデアを通過していない別のスパークを見ると、その本は閉じられています。そこには本はありません。これが自己実現したLifeのスパークと他のすべてのスパークとの違いです。

Q：しかし、それは自己実現したスパークだけがそれを見ることができるのですね？

K：はい、自己実現したスパークだけです。ですから、もしあなたが自己実現した現れであるなら、別の自己実現したスパークは即座にそれを知る事ができます。それはあなた額の上に書かれている何かでもなければ、色として別の色で現れているのでもありません。自己実現に到達していないLifeのスパークは見ることができず、別のスパークが自己実現したものか否かを認識することができません。なぜなら、彼等はワンネスの個別性を、他の全てのLifeのスパークのワンネスとは違うものとして認識しないからです…例えば、アークエンジェルのオーダーの中のもの、あるいはまだ実存の諸世界にそれ自身の微細なスパークを放射していない魂のセルフエピグノシスのそれとの違いを認識しないからです。それらはまったく同じです。

　例えば、もしあなたがまだ実存の世界に下降していない魂のセルフエピグノシスに尋ねたとしたら、その魂のセルフエピグノシスはあなたに“はい、私は存在の諸世界における全ての魂のセルフエピグノシスを代表する一つの魂です”と答えることでしょう。もしあなたがミカエルに尋ねても同じです、彼は“私はこのオーダー全体を意味するミカエルで、それら全体のミカエルの中の一つではありません”と答えるでしょう。役割が決まっているオーダーは常にそのようになっています。なぜなら、彼等は人間とは異なり、プログラムされたセルフエピグノシスだからです。

Q：無知な人間はまだお互いにつながっています、つまり体験が別々ではないという意味で。私たちの無知のステートにおいて、私たちをまだつなげているものがありますか？

K：無知な人間であろうと、高度に成長した人または自己実現のステートにある人であろうと、私たちは皆つながっています。どのようにしてつながっているのでしょうか？私たちの内側にはLifeのスパークがあります；そしてどんな人のLifeのスパークも、この創造界における人間のスパークは皆同じです。**私たちはこの地球上にいる人間とだけつながっているのではなく、創造界における全ての人間とつながっています。**

Page4

私たちはまた、すべてのアークエンジェルのオーダーとも、そしてLifeを現している他の全てのLifeの現れともつながっています。そしてLifeを現していると言う時、それはLifeの本質を意味します；勿論、私たちはつながっています。それ故に私たちは言うのです…“その人が誰であろうとも相手を見る時、実際には同時に自分自身を見ているのです”と。そして、“自分自身を見ているのです”と言いましたが、より深いリアリティーにおいては、それは主を見ているのと同じであり、ここで私が主と言う時、それは絶対存在それ自体のことです。

Q：それなら、もしある人々が苦しんでいるか、または幸せで、そしてあなたがそれらの人々を知らない場合、あなたはそれでもそれらの人々の感情、思いを体験するのでしょうか？

K：どんな体験であれ誰かが受け取る場合、それは汎宇宙的潜在意識のマインドに記録されています；それは一つの体験です、しかしだからといって私たちが何であれその人の体験を得るということではありません。個人は自分自身の体験を経験する必要があります。それが結局、いわゆる個人性というものを作り出します。それが気づきの上昇への助けとなり、その現在のパーソナリティーの不定形の諸体を再形成する努力を助けることになります。そして最終的には自己実現のステートへと到達するのです。そして現在のパーソナリティーは性別を超えたそれ自身を現わし、自分自身を“パーソナリティー”として現します。

Q：何がその人が変わる原因となるのでしょうか？現在のパーソナリティーが一つのステートから別のステートへと変化する原因とはなにですか？

K：レッスンで述べたように、現在のパーソナリティーが自己実現に達すると、完全に再形成されたサイコノエティカル体となりますが、しかしそれが起きた瞬間、その人はもはや現在のパーソナリティーではなく、一つのパーソナリティーとなります。そしてそのステートで高次ノエティカル体の使用を与えられていません。高次ノエティカル体は5番目のサイクルを完了した時に与えられます。そしてそのステートにおいてその現れはもはや現在のパーソナリティーでもなければパーソナリティーでもありません、それは実存の諸世界において人間のイデアを通じての現れとなり、同調の能力があり、もちろん高次ノエティカル体を使用することもできます。完全に再形成された体のなかにいて、永遠のアトムのなかにいます；ですから、自己実現した現在のパーソナリティーは同調を使って他の人々を助けるのです。

　このステートでは二元性は存在しないと言いました…自己実現していて、そして高次ノエティカル体を使用しています。その人の現れには1つのセンターだけがあり、思考の活動はなく、完全にLifeのアガピを現しています。なぜならアガピとLifeは一つだからです。ですから現在のパーソナリティーとして現れていても、自己実現からの能力を現しています；つまり現在のパーソナリティーの大きなサイクルからのものです。

Q：私たちはアダムとイブからスタートしました；私たちは円、サークルを歩み、そして再びアダムとイブに戻りますが、性別なしに、そして自己実現したパーソナリティーなしに戻るのでしょうか？

K：自己実現したパーソナリティーとして、確かに私たちはアダムとイブとしてのパーソナリティーに戻ります。しかし、以前のアダムとイブの現れの仕事と同じではありません。その現れには今や別の仕事があります。なぜなら、最初の仕事は達成されたからです。英知がそのパーソナリティーをもう一つの“義務”へと案内します。そこでは二元性が一つの能力となり、それを使って他の同胞の人間達を助けるのです。しかしそれは無知の結果としての二元性ではありません。

Q：自己実現した人は完全にブレーシス（＊神の意図）のもとにあります。しかし、思考のプロセスもなく行動する場合の二元性もないのに、どのようにして働くのですか？

K：このように説明しましょう。現在のパーソナリティーはブレーシスにおいて自分の波動を下げたり上げたりすることができます。しかし、現在のパーソナリティーとして思考を使うこともでき、さらに理解してもらえるレベルで気持、感情を使うこともできます。なぜなら、もしそのパーソナリティーがLifeのアガピを使うなら、人間は誰一人それに気づくことができないからです。

Page5

Q：アークエンジェルは７つ、そしてその影もいれて全部で14の現れがある、と理解してよいのでしょうか？

K：主となるアークエンジェルのオーダーは7つであり、そして各オーダーはこの生命の木において2つのステップがあり、より明確に言えばヤコブの梯子に関してですが。一つのステップはオーダーを意味し、もう一つのステップは何であれそのオーダーが天使（エンゼル）として活性化するものです。しかし主となるオーダーは7つです。そしてこの梯子の上では守護大天使はいません、なぜなら彼等はオーダーではないからです。

Q：それでは彼等はどこから下降してくるのですか？

K：守護大天使はロゴスの側面からきます。なぜなら、それは主となるロゴスの現れ、下降だからです、そして人間はロゴス的現れです。しかしロゴス的現れによって使用されるためには、それは人間のイデアを通じてのみです。ですから実際、この下降を通じてのみ守護天使はあるのです。いいですが、私たちは詳しくはわかりません。なぜなら彼等はLifeそれ自体によって任命され、そして何であれアウタルキーのステートにあるものに関しては私たちは何も知ることができないからです。

Q：それでは物理的な意味で、守護大天使は私たちの周囲のどこに見いだすことができるのですか？

K：それは私たちの内側であり、同時に私たちを抱きしめています。しかし、特定の場所ということではありません。

Q：私たちが分子呼吸をしてエネルギーを高める時、守護大天使が活性化させ、守護大天使がその構造のなかにいるのですか？

K：違います、アークエンジェルは何であれそのパーソナリティーが達成するものを必要としていません。しかし同時に、彼等はそのパーソナリティーが何であれ達成すべきものも提供しません。守護天使は私たちのなかでLifeのスパークと協同して働いており、また他の全ての法則と共同して働いています。そして他の法則が許す場合に、そのパーソナリティーがある特定の体験を避けることができる時には、その人の守護天使は行動を起こしてその人が否定的な体験を避けることができるように働きます…他の人間達がその人は一体どうして生き残ることができたのか、と不思議に思う場合でも。しかし、それに関する説明を見いだすことはできません。例えば、誰かがあなたを手で押し出したかのように感じるかもしれません。夢のなかでは必要ありません、なぜならそのサイコノエティカル体には恐れがないからです。

Q：悪夢を体験し、夢のなかにいて恐怖を感じている時は…？

K：もしそれがあなたに恐怖を与えるなら、実際そこから出るのはそのパーソナリティーです。あなたは夢から目覚めるのです。何がそのパーソナリティーを目覚めさせるかは別問題です。そのパーソナリティーが自分の夢をどのように解釈するかは別のことです。しかしアークエンジェルはあなたの前に現れることはないでしょう…あなたが現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェルと同調することができるステートに達しない限りは。実際、そのステートではあなたはアークエンジェル達と共同で働きます。あなたは押されるのを感じ；あなたに手が来るのを感じるかもしれません。

Q：現在のパーソナリティーに付きそう守護大天使は何回かの転生を通じて同じですか？

K：そうです。同じ守護天使です。

Q：その現在のパーソナリティーが自己実現に到達したら、その大天使の仕事は終わるのですか？その天使は別の仕事を与えられるのですか？

K：自己実現したときには、その人はもはやそれまで現在のパーソナリティーに付き添っていた守護天使を必要としません。しかし、その守護天使はそこに留まりますが、役割は前とは異なります。大天使達は自分達の役割を完全に終えた時に去っていきますが、それは惑星上の全ての人間が自己実現に到達した時です。つまり、特定の惑星の全ての人間がもはやパーソナリティーではなくなり、人間のイデアを通じた現れとなり、高次ノエティカル体を使用してセルフを現すようになる時です；その時には守護大天使達の役割はなくなります。なぜなら、そのステートではその惑星における全ての人間はアークエンジェル的状態を現しているからです。そして他の全てのアークエンジェルたちが行う役割を、それらの人間はアークエンジェルたち以上に行うことができるからです。

　彼等はLifeに戻り、誰か他の人に付くということはありません。彼等は自分の役割を完了しました。そして彼等は常にLifeの本質を完全に現しているので、何かを体験するということもありません。彼等はプログラムされたセルフエピグノシスであり、特定の仕事だけを行うのです。そして最終的に彼等はスピリットモナドセルフに戻ります。

Q：後になって彼等が人間のイデアフォームを通過することは可能ですか？

Page6

K：あなたがこれらの質問をする理由は、創造界にあるものは何でも、そして創造界ですらディバインの黙想以外の何ものでもない、ということを忘れているからです。このディバインの黙想の中にあるものは決してアウタルキーを去ることはありません、それはそれ自体のなかにおける微細な粒子の動きです。この創造界全てを絶対存在のアウタルキーの外側にある何かであるとみなすべきではありません；それはこの終わりなきディバインの黙想の動きです。

勿論、彼等はそれも可能です（＊人間のイデアフォームを通過すること）、なぜならスピリットモナドセルフは人間のイデアを通じてそれ自身の微細な部分を放出することができるからです。あるいは、そのスピリットセルフは聖霊的イデアを通じてそれ自身の微細な部分を放出するかもしれません。制限はありません。

Q：それでは自己実現した現在のパーソナリティーは他の人々が自己実現に達するのを助けますが、守護大天使はそれをさらに助けるのですか？

K：守護天使は自己実現した現在のパーソナリティーの中で、Lifeのスパークと共に働きます。そうです、勿論。しかし、そのパーソナリティーと共にいるのはその現在のパーソナリティーです。それゆえに、自己実現した現在のパーソナリティーはアークエンジェルのオーダーと共同して働くのです…それがオーダーであれ、現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェルであれ。彼等は他の現在のパーソナリティーに付き添っている守護天使に同調するように助けるのです。

EREVNA PYR 71/KE07 No.15/-5/30